

# ラオスの森は 今も歌っていますか？

アーティストトーク  
ルートマニー・インシエンマイ (ラオス)  
× 田島征三  
(絵本作家・美術家)



(借成社)



絵本「森の歌がきこえる」のオブジェを制作した、ラオスのアーティスト、ルートマニー・インシエンマイ氏が、来日！

作品に対する思い、ラオスの森の精霊の話など、田島征三と対談します。通訳はラオス在住の安井清子さん。

ZOOMによる同時配信、アーカイブ配信いたします。

当日会場に来られない方はオンラインで！

日時：2025年5月31日(土)

14:00~17:00 開場 13:30

場所：ブックハウスカフェ2F ひふみ (千代田区神田神保町2-5-3)

神保町駅 A1 出口徒歩1分、神保町駅エレベーター設置 A2 出口徒歩3分

九段下駅6番出口徒歩5分、九段下駅7番出口徒歩8分、水道橋駅西口徒歩10分

定員：50名 (ZOOM参加は100名)

参加費：1000円 (ZOOM参加は500円)

参加申込：右QRコードからお申し込みください。

(QRコードでのお申し込みが難しい場合は、下記までメールでお問い合わせください。)

お問い合わせ：yoyaku@bookhousecafe.jp

主催：ラオスの森の絵本プロジェクト

店舗参加



ZOOM参加

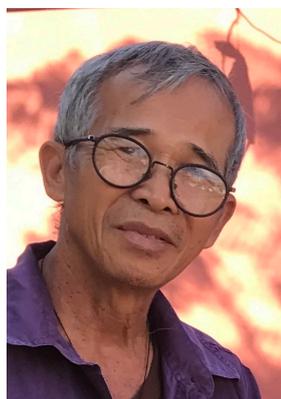


<登壇者の紹介>



**田島征三（たしま せいぞう）**

1940年 大阪府生まれ。幼少期を高知県で過ごす。多摩美術大学卒業。  
「ちからたろう」でブラチスラバ世界絵本原画展金のりんご賞、  
「ふきまんぶく」で講談社出版文化賞絵本賞、  
「とべバッタ」で小学館絵画賞と絵本にっぽん賞、その他受賞多数。  
2009年 新潟県十日町市で「鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館」を開館。  
2019年 ハンセン病回復者の国立療養所がある瀬戸内大島で「Nさんの人生  
絵巻」を制作。



**L・インシシェンマイ（ルートマニー・インシシェンマイ）**

1954年、ラオスのサバナケート県生まれ。  
ドンドーク大学卒業後、情報文化省に入省して舞台劇やサーカスを担当。  
フランスでのピエロの研修をへて、  
2000年にオブジェクトシアター「カボン・ラオ」を設立。  
2010年劇場作におけるアーティストに贈られる賞を受賞。  
2014年ラオス芸術協会に入会、演劇担当。  
2015年情報文化省、人形劇局を退職後、人形やアート作品の制作に専念して  
いる。



**安井清子（やすい きよこ）**

東京都生まれ。国際基督教大学卒。  
1985年より、タイのラオス難民キャンプで、NGO（SVA=シャンティ国際ボ  
ランティア会）のスタッフとして、モン族の子どもたちのための図書館活動に  
携わる。  
その後ラオスで子ども図書館活動、モンの民話記録などを行う。  
2004年に「ラオス山の子ども文庫基金」を設立。現在もモンの村やビエンチ  
ャンで子ども図書館活動を展開中。



「森の歌がきこえる」（偕成社）より